



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高木 紀一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 和也 TEL 044-333-5354  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,135	△7.1	△193	—	△79	—	1,277	—
29年3月期第2四半期	14,143	△4.1	△79	—	△318	—	△311	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,300百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	161.93	—
29年3月期第2四半期	△39.36	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に該当株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	39,789	20,173	50.7	2,566.18
29年3月期	42,733	17,374	40.7	2,197.67

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 20,173百万円 29年3月期 17,374百万円

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に該当株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計は5円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

### 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△3.1	1,300	0.4	1,300	△3.9	2,300	135.5	291.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,913,950株	29年3月期	7,913,950株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	52,573株	29年3月期	8,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,891,031株	29年3月期2Q	7,905,937株

※平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は平成29年6月29日開催の第93回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。
  - (1) 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 5円
  - (2) 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期29円15銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の復調に伴う輸出の増加、国内における雇用環境の改善が続く中、民間設備投資及び個人消費に持ち直しの動きが見られ、企業の景況感が改善する等、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、海外政情不安、さらには北朝鮮情勢をはじめとする地政学リスクの高まりもあり、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、13,135百万円と前年同四半期に比べ7.1%の減少となりました。損益面におきましては、売上高の減少による売上総利益の減少により、営業損失は193百万円（前年同四半期は79百万円の損失）、経常損失は79百万円（前年同四半期318百万円の損失）となりました。一方で、これまでの実績及び今後の業績動向を勘案して繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額がマイナスとなりましたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,277百万円（前年同四半期は311百万円の損失）となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高7,602百万円（前年同四半期比6.7%減少）、営業損失635百万円（前年同四半期は727百万円の損失）となりました。

単体機械事業については、売上高5,532百万円（前年同四半期比7.7%減少）、営業利益442百万円（前年同四半期比31.7%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,944百万円減少の39,789百万円となりました。これは、仕掛品の増加648百万円、株価上昇に伴う時価のある有価証券の評価差額の増加等による投資有価証券の増加1,582百万円等がありましたが、現金及び預金の減少2,810百万円、受取手形及び売掛金の減少3,020百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,743百万円減少の19,615百万円となりました。これは、電子記録債務の増加114百万円等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少3,815百万円、その他固定負債の減少1,431百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,799百万円増加の20,173百万円となりました。これは剰余金の配当による減少395百万円、自己株式の取得による減少106百万円等がありましたが、親会社に帰属する四半期純利益の計上1,277百万円、投資有価証券評価差額金の増加1,099百万円、退職給付に係る調整累計額の増加971百万円等の影響によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動、固定資産の取得及び配当金の支払等に資金を使用した結果、2,810百万円の減少となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、2,005百万円となりました。これは、減価償却費287百万円の計上、売上債権の減少2,729百万円等により資金が増加いたしました。仕入債務の減少3,701百万円、前渡金の増加160百万円、たな卸資産の増加664百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、257百万円となりました。これは、主に固定資産の取得259百万円により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、524百万円となりました。これは、配当金の支払額395百万円、自己株式の取得による支出106百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,255	2,445
受取手形及び売掛金	16,719	13,698
電子記録債権	611	903
製品	802	804
仕掛品	1,510	2,158
材料貯蔵品	965	979
その他	1,370	1,611
貸倒引当金	△14	△24
流動資産合計	27,220	22,576
固定資産		
有形固定資産	4,757	4,784
無形固定資産	283	242
投資その他の資産		
投資有価証券	10,301	11,884
その他	219	363
貸倒引当金	△49	△61
投資その他の資産合計	10,471	12,185
固定資産合計	15,512	17,212
資産合計	42,733	39,789
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,472	4,656
電子記録債務	1,172	1,287
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	308	35
前受金	531	500
賞与引当金	617	529
役員賞与引当金	16	—
完成工事補償引当金	83	139
受注工事損失引当金	28	67
その他	1,038	1,051
流動負債合計	13,269	8,265
固定負債		
長期借入金	2,300	3,300
役員退職慰労引当金	85	—
P C B 処理引当金	17	17
役員報酬B I P 信託引当金	—	3
退職給付に係る負債	8,015	7,789
その他	1,671	239
固定負債合計	12,089	11,349
負債合計	25,358	19,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,202	4,202
利益剰余金	8,010	8,893
自己株式	△18	△125
株主資本合計	16,151	16,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,956	5,055
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△163	△211
退職給付に係る調整累計額	△2,570	△1,598
その他の包括利益累計額合計	1,222	3,245
純資産合計	17,374	20,173
負債純資産合計	42,733	39,789

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,143	13,135
売上原価	11,308	10,615
売上総利益	2,835	2,519
販売費及び一般管理費	2,915	2,712
営業損失(△)	△79	△193
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	112	136
為替差益	—	51
その他	0	1
営業外収益合計	114	190
営業外費用		
支払利息	17	20
支払手数料	31	46
為替差損	294	—
その他	8	10
営業外費用合計	352	76
経常損失(△)	△318	△79
特別利益		
投資有価証券売却益	35	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
投資有価証券評価損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△301	△79
法人税、住民税及び事業税	37	25
法人税等調整額	△27	△1,382
法人税等合計	10	△1,356
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△311	1,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△311	1,277

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△311	1,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	1,099
繰延ヘッジ損益	△12	0
為替換算調整勘定	97	△48
退職給付に係る調整額	192	971
その他の包括利益合計	422	2,022
四半期包括利益	111	3,300
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	3,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△301	△79
減価償却費	297	287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	21
賞与引当金の増減額(△は減少)	△85	△88
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△16
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△31	55
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	2	38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36	△85
役員報酬BIP信託引当金の増減額(△は減少)	—	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12	41
受取利息及び受取配当金	△113	△138
支払利息	17	20
為替差損益(△は益)	212	△25
投資有価証券売却損益(△は益)	△35	—
投資有価証券評価損益(△は益)	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,763	2,729
たな卸資産の増減額(△は増加)	△622	△664
前渡金の増減額(△は増加)	△19	△160
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,818	△3,701
前受金の増減額(△は減少)	△218	△33
その他	△346	△55
小計	675	△1,850
利息及び配当金の受取額	113	138
利息の支払額	△17	△20
法人税等の支払額	△210	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	560	△2,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△174	△259
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	42	0
長期貸付けによる支出	△0	—
長期貸付金の回収による収入	1	3
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133	△257
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,000
リース債務の返済による支出	△10	△23
自己株式の取得による支出	△0	△106
配当金の支払額	△395	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	94	△524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	424	△2,810
現金及び現金同等物の期首残高	4,733	5,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,158	2,444

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	8,150	5,993	14,143
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,150	5,993	14,143
セグメント利益(△は損失) (営業利益(△は損失))	△727	647	△79

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	7,602	5,532	13,135
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,602	5,532	13,135
セグメント利益(△は損失) (営業利益(△は損失))	△635	442	△193